



市民の声そのままシティプロモーション

京阪の駅や電車、ウェブ上で子育てのしやすさを PR

◎チラシあり

市は 12 月～来年 1 月にかけ、「だから、枚方」をキャッチフレーズに市外在住の子育て世帯をターゲットに集中的なプロモーションを行う。市内在住の子育て世帯が多くの自治体から枚方市を選んだ理由にフォーカスし、「〇〇だから、枚方」と住民目線で枚方市の暮らしやすさをアピールする。12 月 11 日～17 日には京阪電車の各駅にポスターを掲示するほか、電車内の中吊り広告や京阪京橋駅改札前のデジタルサイネージでも展開する。また、ウェブ広告も 11 月 14 日から実施しており、北河内や大阪市内に住む 20 代～40 代を対象に Yahoo! ニュースなどに 15 秒程度の動画広告が掲載される。一般的に物件を探す人が多くなる 1 月を見据えて効果的に PR し、定住促進につなげることが狙い。

★枚方市の人口は 10 月末現在 39 万 4819 人で大阪府内 5 番目、近畿で 10 番目。平成 25 年から令和 4 年の 10 年間、20 歳～44 歳の夫婦世帯の転入が転出を上回っているほか、令和 4 年の 0 歳～14 歳の転入超過人数は大阪府内で 1 位になっているなど、子育て世代に選ばれるまち。しかし、全体で見れば出生数が死亡数を下回る自然減の影響もあり、平成 21 年をピークに減少傾向が続いている。

★キャッチフレーズの「だから、枚方」は、枚方に住む子育て世帯や、子育てを経験した家庭が思う枚方の暮らしやすさや好きなど、移住の際に他市と比較してなぜ枚方を選んだのかという理由こそが市の本当の強みであるはずという考えから生まれた。ポスターやウェブサイトにて起用しているのは全て市民で、まちの活動に協力する「ひらかたプロデューサーズ」メンバーやイベントに訪れた市民などにインタビューし、枚方の暮らしやすさを確認して PR 内容を作りこんだ。

★京阪本線の準急が止まる規模以上の 16 駅にポスターを掲示し、京阪電車内に中吊り広告を掲出するほか、京阪京橋駅の改札前にあるデジタルサイネージでも映像を放映する。ウェブ上では、北河内や大阪市内に住む 20 代～40 代を対象に Yahoo! Japan トップページなどに 15 秒の動画広告が掲載される。各広告からは市 PR サイト「だから、枚方」特設ページに誘導している。

市 PR サイト「だから、枚方」特設ページ
<https://www.city.hirakata.osaka.jp/promotion/life/kids/index.html>



期間	内容
<p>11月14日(火)から</p>	<p>WEB 広告</p> <p>大阪市、寝屋川市、京都市、交野市、八幡市、高槻市、門真市、守口市、東大阪市に住む20歳～39歳を対象に、YouTube、Google 関連サイト、Yahoo! 関連サイト、LINE に15秒の動画広告を掲載。</p> <div data-bbox="464 409 1414 636"> </div>
<p>12月11日(月)～17日(日)</p>	<p>京橋駅インパクトデジタル</p> <p>京阪京橋駅中央改札前のデジタルサイネージ(60インチ×12面)に15秒の動画。放映時間は6:00-24:00、放映回数は1分30秒に1回。</p> <div data-bbox="432 826 1027 1509"> </div> <p>◀動画(左から右へ15秒)</p> <p>中吊り・駅貼</p> <p>京阪電車の各車両にB3サイズの広告を掲出。また、出町柳、三条、祇園四条、七条、丹波橋、中書島、石清水八幡宮、香里園、寝屋川市、萱島、守口市、京橋、天満橋、北浜、淀屋橋、河内森の各駅にB2サイズのポスターを掲出。</p> <div data-bbox="1046 826 1414 1055"> </div> <div data-bbox="1062 1447 1414 1933"> </div> <p>駅に掲示するポスター▶</p>
<p>12月15日(金)～1月11日(木)</p>	<p>PR ラック</p> <p>淀屋橋駅・京橋駅・枚方市駅のラックに駅貼のポスターと同デザインのチラシを配架。</p>

★市PRサイトの「だから、枚方」ページでは、市の子育て施策や住環境などを紹介しているほか、実際に子育てしている世帯が「～だから、枚方を選びました」と話すインタビューも掲載している。12月8日からは「市民のだから」と題し、「イベントが多い」「自然が多い」「子育て支援が手厚い」など、市民たちが枚方で暮らす理由を集めたページも公開する。



12月8日に
公開予定のページ▲▶



★市担当者は「行政が思う魅力よりも、長く暮らす市民や転入してきた市民が感じている魅力の方がリアル。市民にインタビューすると、都会過ぎず住みやすい、特急が止まる、公園や遊ぶところがいっぱいなど、それぞれにとって、だから、枚方が良いといった理由があり、誰にとってもちょうど良い暮らしができるまちの魅力をうまく伝えたい」と話す。

★「だから、枚方」のプロモーションは、市と連携協定を締結する独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）や公益財団法人全日本不動産協会大阪府本部大阪東支部、一般社団法人大阪府宅地建物業取引業協会京阪河内支部に協力を依頼しており、公民連携して枚方への転入を検討する人へまちの魅力を届けている。

<お問い合わせ>

市長公室 広報プロモーション課 ☎ : 072-841-1258 FAX : 072-846-5341